

いのちの言の葉

「いのちの世界の広さと深さ」(総合的な学習の時間)

射水市立小杉中学校 対象：1学年生徒

富山県教育委員会 平成20年度いのちの教育支援事業 平成20年10月8日実施

「いのちの世界の広さと深さ」

とやま・いのちの塔の建立にまつわるお話からいのちの広さ、深さそして人間としての生き方についてお話していただきました。

稲葉 茂樹 先生のプロフィール

長年にわたり、高校教育に携わり富山県の教育に貢献、退職後旧小杉町教育長としてご活躍。その後、富山いのちの教育研究会会長として、いのちの教育の推進にご尽力。

いのちは一人に一つあるけど、みんなに支えられたいのちなんだと感じました。

たった一度で限りある自分のいのちや人生を、かけがえのないものにし、精一杯輝かせて生きていきたいと思います。

私の弟は障害がありますが、弟がいるとすごく楽しいし、笑い合えるので、弟が生まれてきてすごくよかったと思っています。人間に生まれてきていけないいのちなど、どこにもないと思いました。

植物にいのちがあることを忘れがちです。だから、私はいろいろなものに目を向け、いろいろないのちを大切にしていきたいです。

【内容】

- 1 とやま・いのちの塔について
- 2 いのちの広さ、深さ
 - ・「いのち」の意味
 - ・38億年の歴史
 - ・様々な生命体は他の生命体と深いつながりをもってきた話
- 3 いのちの広さ、深さから学ぶこと
 - ・いのちの不思議さ、生かされていることへの感謝
 - ・いのちは道具ではないことの強い自覚
 - ・どんなに辛くても未来の人生に到る道であると信じること等

最近は自殺だけでなく、他人を巻き込んだ殺人が増えています。どんな理由があってもしてはいけないことだと思います。「生きたい」のに、生きることができない人もいます。このようなことをよりたくさんの人に知ってもらい理解して欲しいと思います。

富山県で年間2000頭もの犬が殺されていることにショックを受けました。そして犬をもののように扱っている人たちがいることにもびっくりしました。いのちの大切さがとてもよく分かりました。

